

令和3年度 第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和4年3月3日（木）午後2時から午後3時まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出席者	委員（敬称略、順不同） 石川 洋子 被保険者代表 柘植 由紀子 介護サービス利用者代表 松山 陽二 介護サービス事業者代表 木下 雅盟 医療関係者 神野 幸夫 福祉関係者 制野 司 学識経験者
欠席者	杉原 孝子 保健関係者 野々山 郁 医療関係者
傍聴者	なし
事務局	福祉部長、高齢者支援課3名、 東郷町北部地域包括支援センター2名 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑3名
議 題	1 あいさつ 2 報告事項 令和2年度東郷町地域包括支援センター事業評価について 3 議題 (1) 令和4年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について (2) 令和4年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について (3) 令和4年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について
配布資料	次第 資料1 令和2年度地域包括支援センター事業評価について 資料2 令和4年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案） 資料3 令和4年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案） 資料4 令和4年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）

## 1 あいさつ（制野会長）

## 2 報告事項

### (1) 令和2年度地域包括支援センター事業評価について

事務局	資料説明。資料1
委員	個別事例のモニタリングシステムを作るのは難しいと思うが、具体的にはどのようなものになるか。
事務局	個別ケースは各包括が担当しているケースであるため現在もモニタリングを行っているが、多職種カンファレンスでの事例は、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する事例の検討もあるため、担当ケアマネジャーはモニタリングを行っていると思うが、包括がモニタリングするシステムは現在ない。今後、どうしていくか検討が必要。
委員	南部包括が3職種配置していないということですが、常勤専従の主任ケアマネがない状況。町からも指摘を受けており、今年度求人募集をしているが現在に至るまで応募者がおらず配置できていない。来年度の配置については、法人本部の事務局と調整中であり、4月の人事異動で主任ケアマネを配置するか、5年の実務経験を有する者がいるため研修を受講させるか、どちらかにより来年度中には配置するというご理解いただきたいと思う。
会長	人事案件については法人の方針で変わるが、4月の人事配置で配置されるか、年度内で配置できるということでした。自分も法人にいたことがあるので、人事配置が厳しいことは理解できる。ただ、基準があるので、いつまでもこのままでいいわけではない。できる限り配置できるよう努めていただきたい。 質問ですが、事業評価について全国平均が出ているが、50%程度で推移している項目について、毎年低い水準で推移していることについて何か事務局の戦略的な方針などはあるか。そもそもその項目についてどう思うか。
事務局	町の評価で達成できている項目は徐々に増えている。しかし、セルフケアマネジメントの推進などはすぐには難しいと感じている。市町村によっては、包括に国のガイドラインのとおり介護予防手帳を使うことという方針を出して評価に丸をつけているところもある。町としては、国のガイドラインのとおりということではなく、実情に応じて、どうしていったらいいか検討しながら対応していきたい。評価基準はできる限り満たそうとはしているが、何でもそのとおりというわけではなく、順番に進めているところ。経年の比較を出していないのでいけませんが、数年前と比べるとだんだんできていることがわかる。
会長	町としての姿勢は大切だと思うので、明確にすると包括も動きやすいと思う。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

## 3 議題

### (1) 令和4年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について

事務局	資料説明。資料2
会長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

(2) 令和4年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について、

(3) 令和4年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について

事務局	資料説明。資料3、4
北部包括	<p>資料説明。資料3</p> <p>《方針》</p> <p>総合相談件数が増えている。課題収集を積極的に進め、社協本体の事業とも連携したい。相談件数について、R2は344件だったが、現時点で430件と増えている。複合化・複雑化する課題に重層的に対応したい。</p> <p>《総合相談》</p> <p>①実態把握…継続訪問が必要な人をリスト化し訪問する。</p> <p>②総合相談支援…包括相談カードを設置し、ただカードを置くだけではなく、気になる人がいないか等話を聞きながら相談対応する。</p> <p>③地域におけるネットワークの構築…随時介護情報を窓口に掲示している。いこまい館にワクチン接種のために人がくる。毎月黒板を使ってサロン情報等の周知に取り組んでいる。</p> <p>④家族介護者への相談支援体制の充実…認知症カフェや男性介護者に参加し支援体制をとる。</p> <p>《権利擁護業務》</p> <p>④消費者被害の防止への対応…警察署との連携を加えた。</p> <p>《包括的・継続的ケアマネジメント支援業務》</p> <p>③日常的個別指導・相談及び支援困難事例等への指導・助言…支援困難ケースについて、同行訪問を行う。ケアマネと相談しながら寄り添って対応したい。</p> <p>《在宅医療・介護連携推進事業》</p> <p>医療介護マップを作成する。</p> <p>《生活支援体制整備事業》</p> <p>第2層協議体に参加という形でなく、協議体の運営に参加。</p> <p>《認知症総合支援事業》</p> <p>①適切なサービスを提供するための関係機関との連携…認知症の人の支援が適切につながるよう、コンビニやスーパーなどの職域を回りたい。</p> <p>②認知症の人の介護者への支援…推進員のみでなく、包括職員もケアパスを活用し案内する。</p> <p>《一般介護予防事業》</p> <p>住民に出前講座周知のため出向く。受講したことのある団体のリピート率は高いが、新規は少ないため、出向いて啓発する。</p> <p>《多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築》</p>

	<p>包括紹介カードにより情報収集や顔の見える関係を作る。</p> <p>《重点取組項目》</p> <p>実態把握で個別訪問を行う。地域へ出向き、包括の活動周知を行う。地域ケア会議、個別ケア会議により個別課題の解決だけでなく地域課題の解決に取り組む。</p>
南部包括	<p>資料説明。資料4</p> <p>《方針》</p> <p>宅地造成された地域では高齢化率が低い。しかしどの地域も隣近所に支援者がいない、支援者が高齢化した世帯が増えている。地域の支え合いを進めたい。</p> <p>《総合相談支援業務》</p> <p>①実態把握…出前講座等で地域に出向き情報収集を行う。サービス未利用者へ継続的にかかわる。</p> <p>④家族介護者への相談支援体制の充実…男性介護者の集いや認知症カフェを通して困りごとへの対応を行う。</p> <p>《権利擁護業務》</p> <p>③困難事例への対応…複合的な問題には複数の職員で対応する。関係者を交えた個別支援会議を開催し支援する。</p> <p>《在宅医療・介護連携推進事業》</p> <p>医療介護マップの作成を行う。</p> <p>《生活支援体制整備事業》</p> <p>支え合い活動の周知啓発を行う。地域支え合いコーディネーターとの情報交換を行い、協議体及びコアメンバー会議に参加する。</p> <p>《認知症総合支援事業》</p> <p>①適切なサービスを提供するための関係機関との連携…困難事例は初期集中へつなぐ。医療機関、薬局、郵便局等を巡回し、また企業や飲食店への訪問も行う。</p> <p>②認知症の人の介護者への支援…認知症カフェや男性介護者の集いを通して相談支援を行う。サロンなどの通いの場でチームオレンジを立ち上げる。</p> <p>《一般介護予防事業》</p> <p>出前講座を実施し支援する。介護予防教室を実施する。</p> <p>《地域ケア会議》</p> <p>地域課題の把握を行う。</p> <p>《重点取組事項》</p> <p>サロン参加者への相談支援だけでなく、サロンの運営者への協力も行うことで継続を支援する。地域活動、支えあいを住民と考えていく。協議体で支え合い活動の情報を共有する。一緒に何ができるか考える。</p>
会長	事務局、北部包括、南部包括から説明を頂いた。ご意見・ご質問はあるか。
委員	医療介護マップの作成について、他市ではよく見るが、東郷町はないのか。

事務局	ない。
委員	日進市には地図があって、東郷町の内容も掲載されている。
委員	既存のものは広告会社が作成している。それとは違うものを作成するということか。
事務局	今後冊子の内容は検討するが、みなさんが使いやすいようなマップを作ろうと進めている。
委員	冊子にするなら、ネットで調べるのも大変なので、子供から高齢者までみんなが使えるような内容を載せると良い。
事務局	現在は高齢者向けを検討してるが、対象者については検討する。
委員	地域包括ケアシステムは全世代含めてということなので、掲載できるよう検討してほしい。
事務局	今回そこまで手が広げられるかは不明だが、ご意見として頂戴する。
委員	重度心身障害の子ども の こと も ある の で、是非検討してほしい。
委員	コロナで引きこもりが増えているとあるが、引きこもりがちな人のためのサロンを開催していたが、2年くらい開催できていない。どうしたらいいのか、判断が難しい。自分たちで集まってコロナが起きてしまうといけないという思いと、健康な人でもコロナでうつになりそうという人がいるのに一人暮らしの高齢者が引きこもってしまう問題もあり困っている。
委員	イギリスはインフルエンザ並みの制限へ緩和した。アメリカは3回目接種後の人を対象に制限解除すると言われている。日本は、ワクチン接種状況的に6か月後くらい後を行っている。夏過ぎくらいに緩和されるか。イギリスがうまくいけばもっと早い時期での制限解除もあるかもしれないが、全くコロナ前と同じというようにはならない。集まりは、ある程度距離をとって行うことにはなると考えている。
会長	南部はいろいろ企画しているが、開催する方向で計画しているのか。
南部包括	現在まん延防止措置中であるため、主催行事はストップしているが、出前講座等の依頼があれば行っている。
北部包括	諸輪住宅のサロンをやりたいが、自治会からやめてほしいと言われ、できていない。出前講座の依頼があれば行っている。
委員	日本ではワクチン3回接種率がまだ20%程度。3回目を打った人を対象とするなどの対応に今後なるか。
会長	なかなか体制が戻らない中、計画することは大変だと思う。ある程度、夏くらいには目途がつくと考えて進めるしかないか。
委員	110名のサービス未利用者とはどのような人か。
南部包括	サービス未利用者とは、介護認定を受けているが、介護サービスを使っていない方。
委員	認定を受けていない独居の方は含まれていないのか。

南部包括	認定を受けていない人へはお元気訪問を行っている。110名には、お元気訪問対象者も含まれている。
会長	スーパーやコンビニに対して南部包括は広報活動を行うとある。北部は連携とあるが、具体的には何を行う予定か。
北部包括	実際に訪問すると、利用者の相談があつたりするため、訪問先の方と話しながら、支援につながるような形を考えている。
会長	北部と南部で高齢化率など、対象者像が違う。どこの市町村でもそうだと思うが、区域でずいぶん様子が違う。前職はみよし市で、北部は高齢化が進んでいたため、北部地域を2つに分けることになり、自法人が受託した。まだ町の南部地域は宅地造成で高齢化率も低い。町の情勢に応じた対応をしていかなければいけない。
委員	医療とつながっていない方が最近多い。後期高齢者が増える2025年が近づいている。夫婦とも高齢で、夫婦とも医療にかかっていないこともある。
会長	事務局と連携して課題把握、情報提供が大切になる。委員にも情報が入ってきて何かサポートできればと思います。ご意見がなければこの計画で来年度進めることとなります。よろしくお願いします。異議はございませんか。
委員	異議なし。
会長	その他ご意見がないようであれば、議題は以上とする。進行を事務局へ戻す。
事務局	地域包括支援センター運営協議会は今年度最後になります。任期はこれで終了だが、来年度も引き続き受けていただきたい。ご都合が悪ければご連絡ください。来年度第1回は6～7月を予定している。包括の事業実績の報告を予定。引き続き委員を受けていただける方へは正式な依頼を後日行う。 本日はありがとうございました。

以上